

学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

『来週も『元気』であいましょう!』

校長 高橋 励

暑い日も寒い日も正門の前で朝の見守り
をしている方が、先週・今週とお休み
で、校長先生が代わりをしています。(鶴
嶺 東 まちちから 協議会様からこんな旗を
いただきました↓)



いま 季節、
朝はなかなか
寒いですね。
でも、見守りの
みなさんは毎朝
1時間ほど立っ

てくださっています。学区の通学路のあちこ
ちで見守ってくださるみなさんにあらため
て「ありがとう」と伝えたいですね。

正門前の道を通る人はいろいろ。お仕事
前に保育園にお子さんを預けに行く人、通
勤・通学のため寒い中を自転車やオートバ
イで走りぬけていく人、給食の食材を
運ぶお仕事の人など。とくに朝は、いそい
でいる人もたくさんいます。信号のタイミ
ングで渋滞することもしばしば。ちょっと

イラっとしそうな時間。交通の流れとみなさ
んの安全に注意しながら施設 業務員の
杉山さんと黄色い旗で横断中を伝えてい
ますが、意外に「自ら止まってくださる人」が
多いように感じます。黄色い旗をさし出す前
に、のり物のスピードをゆるめて「どうぞわた
らせてあげてください」というメッセージを伝え
てくれる方々を見ると、「見守りの目とこ
ろは、こんなところにもあるんだなあ」とやさしさ
を感じます。自転車やオートバイの方は
自分も寒いはずなのに、やさしいほほえみ
を浮かべてまってくれることも。

まん延防止等重点措置が神奈川県にも
適用され、広がってほしくない感染症の
話題にどうしてもなりがちですが、こんな
ときだから、まわりのだれかを大切に見守るあ
たたかさが、もっと広がればいいのになあ、と
思ったりする校長先生でした。

では、来週も、朝、正門で『元気』であいま
しょう!



いちばんかんせん
一番感染しにくいのは、だれともあ
わずに^す過ごすこと。でも、^{がっこう}学校は、たく
さんのお^{とも}友だちといっしょに^す過ごすところ。

みんなで^{すこ}少し^き気をつけてみれば、お
^{たが}互い^{ちか}近^{すぎ}ない^き距離^{より}を見^みつけることはで
きると^{おも}思う^うんだ。どうだろう？



おお ^{こえ}大きな^だ声^だが出せなくたって、よいも
のに^きしたい^{もち}って^が気持ち^ががあれば、^{とも}友^{だち}だ
ちとの^き距離^{より}や^{かん}換^き気^もにも^き気^つけながら、^{こころ}心
の^ななか^のかけ^{こえ}声^{でも}も^{ぶし}ソー^{れん}ラン^{じゆう}節^だの^{れん}練習^だ
って^でできる^{んだ}ね。

ふれあいホールは、^{いま}今、^{ちよ}ちょっと^{とした}
^{さく}作品^{ひん}展示^{てん}会場^{じやう}に。^{じゆ}授^{ぎやう}業^や校^が外^{がく}学^{しゆう}習^の
^{せい}成果^が展^{てん}示^されて^{いま}います。



“いま”だから^{ちやう}挑^{せん}戦^でできる^{こと}もあ
るかも。ひとにも^{じぶん}じぶん^{にも}やさしい^{がっこう}学校^で
の^す過^{かた}ごし^方方、^{みつ}つけ^ましょう。